



2026 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社オプティ  
(コード番号 152A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 猪野 栄一  
問合せ先 専務取締役管理部長 河野 真二  
T E L 059-363-2512  
U R L <https://opty.co.jp/>

## TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

当社は、2026 年 4 月 3 日付で株式会社東京証券取引所より発出された通知「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」による要請に基づき、当社の TOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況の評価等について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、2024 年 3 月 27 日付で東京証券取引所 TOKYO PRO Market へ上場いたしました。当社は、同市場への上場により社会的信用と知名度の向上を得て、人材採用力の強化と事業基盤の拡充を図り、将来的な一般市場への上場に向けた準備として内部管理体制を強化することを目的として位置付けておりました。

#### 2. 上場目的の実現に向けた取り組みと実現状況の評価

当社は、TOKYO PRO Market へ上場後、目的の実現に向けて以下の取組を推進し、一定の成果を得ていると評価しております。

##### (1) 人材採用力の強化

当社では、個人の能力を重視し、厳選した少人数をもって構成するとの方針から、兼ねてより中途採用により即戦力と成り得る人材確保を行ってまいりました。上場による社会的信用と知名度の向上を背景に、応募者は増加傾向にあり、事業基盤の拡充に必要な人材確保は進捗しております。また、人材の定着率の向上を図るべく、2026 年 3 月より完全週休 2 日制へ移行、2026 年 8 月には退職金制度の導入を実現し、働きやすい環境づくりにも取り組んでまいりました。

上場直前期の 2024 年 2 月期では従業員数 13 名でしたが、上場後の 2025 年 2 月期以降は従業員数 16 名で推移しております。

##### (2) 事業基盤の拡充

当社では、上場による社会的信用と知名度の向上を背景に、事業基盤拡充の基となる尿素(原料)仕入先の充実に向けた交渉に取り組んでまいりました。2024 年 7 月には主力仕入先との取引条件の改善を実現し、2025 年 2 月には新たな仕入先との取引契約を締結するに至りました。これにより、競争力のある適正価格にて

安定的な尿素(原料)の調達が可能となり、事業基盤拡充の基礎を築くことができました。また、販売面に関しては、既存取引先からの新たな取引先の紹介や大手取引先との折衝も可能となり、より多くのユーザー様に当社の強みであるトータルサポート(アドブルーの製造販売、ディーゼルエンジン車が抱える様々な問題を低減するメンテナンス商材の開発と販売)が可能な企業として認知していただき、事業規模の拡大に繋げることができております。

上場直前期(2024年2月期)から直近期(2026年2月期)までの業績推移

|          | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----------|-------|------|------|-------|----------------|
|          | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円   | 円 銭            |
| 2024年2月期 | 1,684 | 43   | 42   | 31    | 134.20         |
| 2025年2月期 | 1,894 | 41   | 27   | 20    | 85.97          |
| 2026年2月期 | 2,001 | 101  | 101  | 67    | 289.05         |

### (3) 内部管理体制の強化

当社は、上場時において整備されたコーポレートガバナンス体制、内部管理体制、適時開示体制、IR体制の適切な継続的運用を推進しております。上場後においても、業務プロセスを適時見直し、業務が安全かつ効率的に円滑な運用ができるよう内部管理体制の強化を図っております。

## 3. 今後の方針

当社は、今後も TOKYO PRO Market への上場目的の実現に向けた取り組みを継続してまいります。

### (1) 人材採用力の強化

当社は、事業基盤の拡充や内部管理体制の強化に応じた人材を適時確保し、経営基盤の充実を図ってまいります。また、次世代を担う人材の確保に向け、中途採用に限定せず新卒採用を可能とするよう、人材教育システムの構築に取り組んでまいります。

### (2) 事業基盤の拡充

当社は、既存事業の更なる拡大に向け、新規取引先の獲得や業務提携先の開拓、並びに、研究開発を推進してきたバイオ燃料の事業化等による、付加価値の創出に取り組んでまいります。

### (3) 内部管理体制の強化

当社は、今後も上場企業として求められるコーポレートガバナンス体制、内部管理体制、適時開示体制、IR体制の一層の充実に取り組み、経営の透明性と信頼性の向上を図ってまいります。また、将来的な一般市場への上場に向けた準備として内部統制システムの構築にも取り組んでまいります。

なお、一般市場への上場予定時期及び上場予定市場につきましては、現時点では未定であります。今後の事業成長、内部管理体制、株式市場環境等を総合的に判断しながら検討してまいります。

なお、本資料に記載された内容及びスケジュールは、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後について確約するものではありません。

以上